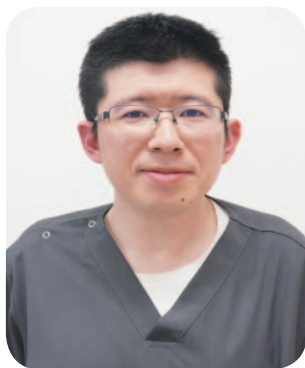




医療  
ホット  
ライン

脳神経外科

# 前兆もなく発症し、後遺症は重篤…「脳出血」に注意を！



西村内科脳神経外科病院

西村 振一郎先生

## 脳卒中の種類

### ●脳出血

脳の中で細い血管が破れる

### ●脳梗塞

脳へ血液を送る血管が詰まる

### ●クモ膜下出血

脳の太い血管の一部が膨らんでできたコブ(動脈瘤)が破裂して脳の表面に出血が広がる

## 当てはまる人は注意を

- 高血圧の人
- コレステロール値が高い人
- 野菜不足の生活をしている人
- お酒を飲み過ぎる人

血圧の治療が進み、生活の改善などで死亡率は低下してきている「脳出血」。しかし、脳出血は前兆もなく発症し、重度の麻痺が残ったり死に至る可能性もある恐ろしい病気です。詳しい話を西村先生に伺いました。

—そもそも、「脳出血」とはどのような病気でしょうか。

西村 よく、「クモ膜下出血」も脳出血に含まれると思われていますが、厳密には違います。「脳出血」は脳内の細い血管が切れて、脳の中に出血するものを言います。「クモ膜下出血」は、脳の表面をおおうクモ膜の下に出血がある状態をいいます。どちらもほとんど前兆がなく突然起こるという点では同じで、恐ろしい病気です。

—脳出血の症状としては、どのようなものがありますか？

西村 脳出血が起こった場所によりさまざまですが、頭痛、手足のしびれや麻痺、視覚障害、認知機能障害、嘔気、めまい、意識障害などができます。最悪の場合命を奪ったり、半身に麻痺が残ったり、半身に麻痺が残る仕事ができなくなることもあります。とくに、脳幹での出血は四肢麻痺、意識障害、呼吸障害が起こることが多く、死亡率も非常に高くなっています。

—原因は何ですか。

西村 高血圧が圧倒的に多いです。長年の高血圧によって脳の血管に動脈硬化が進み、高い血圧に耐えられなくなった血管が、血圧が上がった際に切れて出血すると考えられています。

—そのほかの原因としては、静脈奇形などの血管の病気、高齢者に多い脳アミロイド血管症があります。また、生活習慣によるものとしては野菜不足の食生活、過度の飲酒もあります。

—治療法や予防策を教えてください。

西村 出血した場所と出血量によっては開頭手術

とすることもあります。大半が薬による内科的な治療となります。

急性期の脳出血はCTで診断できますが、発症から時間が経った出血ではMRIでの診断が必要です。MRIでは脳梗塞や脳腫瘍、脳動脈瘤の診断ができるため、クモ膜下出血の予防にも役立ちます。

日ごろから血圧やコレステロール値が高いと指摘されている人、糖尿病の人は、予防として一度MRI検査を受けておくことをお勧めします。